



令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について

全国の中学校3年生全員を対象に、4月18日に実施された全国学力・学習状況調査における本校の結果及びこれからの取組について保護者・地域の皆様に報告いたします。

なお、有田市全体の結果については有田市ホームページにて10月下旬に公表される予定です。(http://www.city.arida.ig.jp/)

また、生徒個人の結果(個人票)については、近く配布する予定です。



pixta.jp - 19545808

【国語】

本校の平均正答率は、全国平均正答率より低くなっています。

学習指導要領の領域等では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は全国平均より高くなっていますが、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では全国平均より低くなっています。

問題別の正答率では、全国平均より高くなっている問題が2問、同程度の問題が5問、低くなっている問題が3問でした。

本校の正答率が全国平均より低くなっている問題、及び本校の正答率が50%以下の問題は、次の通りです。

- ・「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について
説明したものとして適切なものを選択する [本校58.2% 全国63.9%]
- ・「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する
[本校53.7% 全国61.5%]
- ・「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く
[本校41.8% 全国56.8%]

【今後の取組】

これまで、既習事項を活用して学習内容をより深く理解することや反復学習等により基礎学力の定着を図っています。今回の調査結果では「話すこと・聞くこと」、「書くこと」については一定の成果が見られており、引き続き取り組んでいきます。また、学習指導要領の領域や評価の観点においても一定の成果が見られることから、現在取り組んでいる「授業中の発表する機会や話し合う活動」、「課題を設定し情報を集め発表するといった活動」「読書活動」等の充実を図ります。特に、「説明的文章の構成や展開をとらえる」、「文学作品の読み取り」については全体をとらえる活動を増やします。

また、こうした学習活動は国語科だけでなく、その他の教科を含め全ての教育活動においても積極的に取り組んでまいります。

【数学】

本校の平均正答率は、全国平均正答率より高くなっています。

学習指導要領の領域等では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の全ての領域で全国平均より高くなっています。

問題別の正答率では、全国平均より高くなっている問題が10問、同程度の問題が5問、低くなっている問題が1問でした。

本校の正答率が全国平均より低くなっている問題、及び本校の正答率が50%以下の問題は、次の通りです。

- ・ a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ
[本校58.2% 全国62.2%]
- ・冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ
[本校46.3% 全国38.8%]
- ・冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する
[本校47.8% 全国34.7%]

- ・「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する [本校43.3% 全国40.8%]

【今後の取組】

数学の基礎的な学習内容を教科書やワーク等で演習し反復学習を徹底することで、基礎的な学力がしっかり定着してきています。今後も学校での授業と家庭での学習を系統付け、学力の定着を図っていきます。

また、数学的な見方や考え方の理解をより深めるため、授業の中で生徒自らが数学的な用語を用いて表現する場面を多く設定したり、問題解決の方法に重点を置き、解決に「用いるもの」と「用い方」を明確にし、問題解決の方法を説明する活動の充実を図ります。

【英語】

本校の平均正答率は、全国平均正答率より高くなっています。

学習指導要領の領域等では、「読むこと」「書くこと」は全国平均より高くなっていますが、「聞くこと」は全国平均より低くなっています。

問題別の正答率では、全国平均より高くなっている問題が9問、同程度の問題が5問、低くなっている問題が7問でした。

本校の正答率が全国平均より低くなっている問題、及び本校の正答率が50%以下の問題は、次の通りです。

- ・ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する [本校86.4% 全国91.1%]
- ・教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する [本校75.8% 全国88.6%]
- ・家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する [本校54.5% 全国61.8%]
- ・天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する [本校72.7% 全国82.0%]
- ・来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く [本校 1.5% 全国 7.6%]
- ・月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する [本校66.7% 全国73.1%]
- ・食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く [本校13.6% 全国10.9%]
- ・文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する [本校48.5% 全国58.2%]
- ・与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く [本校37.9% 全国28.9%]
- ・与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く [本校48.5% 全国32.9%]
- ・学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く [本校 6.1% 全国 1.8%]

【英語「話すこと」】

本校の平均正答率は、全国平均正答率より高くなっています。

問題別の正答率では、全国平均より高くなっている問題が3問、同程度の問題が1問、低くなっている問題が1問でした。

本校の正答率が全国平均より低くなっている問題、及び本校の正答率が50%以下の問題は、次の通りです。

- ・カレンダーを見て、少女の誕生日を答える [本校26.1% 全国27.3%]
- ・バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える [本校15.9% 全国25.7%]
- ・ユイコとアラン先生のやりとりを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする [本校18.8% 全国10.5%]

【今後の取組】

英単語テストをほぼ毎回行い、未定着の生徒には再度指導を行っていますので、多くの生徒が英単語の力をつけてきています。また、一般動詞の不規則変化についても意識的に繰り返し指導を行っているため、理解している生徒が増えています。英文法に関しては、授業中にフィードバックしながら定着を図っています。「聞くこと」については、英語を聞く機会を多く設定していますが、会話のスピードについていけるよう指導を工夫しながら今後も機会を多く設定していきます。また、キーワードを意識するような指導を心がけてまいります。

これからもできるだけ多くの生徒が英語に親しめるような授業づくりに取り組んでいきたいと考えています。